

クラス内の方針

*授業の基本方針

- ・受講生のみなさんが知的刺激を得られるような努力をします。
- ・みなさんの職業経験を授業の中に活かせるような工夫をします。
- ・みなさんが授業で得た知見を仕事に活かせるよう、授業内容・方法を工夫します。
- ・明確な学習目標を設定し、これに達成するための課題を用意します。
- ・教員と受講生、および受講生間のコミュニケーションを促進します。
- ・受講者の多様性に配慮します。
- ・努力が正当に評価されるように、公正な成績評価を行います。

*クラス的环境

夜遅いので、飲み物、軽食を持ち込んでけっこうです。リラックスしてやりましょう。寒すぎたり暑すぎたりしたとき、教員の声が聞き取れないとき、他の受講者によって授業が妨げられたと感じたとき、その他教室の環境に不快を感じたときは、遠慮なく教員に言ってください。できる限りの快適な授業環境づくりを心がけます。

*授業の開始・終了時刻、休講について

授業は特別な理由がない限り延長はしません。
やむを得ない理由によって休講、時間変更するときは、あらかじめ連絡します。

*遅刻・欠席について

遅刻や欠席をする場合は、できるだけ事前にメール・電話などで連絡下さい。フォローアップのための支援をします。

*連絡事項について

授業に関する連絡事項は電子メールで行います。みなさんのメールアドレスを把握するため、4月13日（金）までに近田宛てにメール下さい。

*試験、追試験、再試験について

この授業は試験、追試験・再試験を行いません。

*オフィスアワーについて

この授業のオフィスアワーは特に決まった時間帯を設けていません。下記のメール・電話で連絡をください。随時対応します。研究室への急な訪問には、十分に対応できないこともありますので、ご了承ください。

*この授業に関する問い合わせ先

近田政博（名古屋大学高等教育研究センター准教授） chikada@cshe.nagoya-u.ac.jp
研究室直通 789-5692

高等教育基礎論（研究方法）のシラバス

担当教員：近田政博（高等教育研究センター准教授）

前期 水曜 7限 2単位 場所：文系総合館 401 号室

初回は 4 月 11 日（水）午後 8 時～9 時 30 分（オリエンテーション）

場所：文系総合館 5 階 高等教育研究センター会議室（509 号室）

ティーチング・アシスタント：伊藤 奈賀子さん（D1、岐阜女子大学講師）

授業の概要と目的

この授業のねらいは、論文を書くことの意味を理解し、その基本的作法を習得し、修士論文の基本構想を組み立てられるようにすることです。これまで職場で実務的な文章を書く経験されてきたと思いますが、学術論文の書き方には独特のセオリーがあります。修士論文として求められる水準を知り、そこにどうやってアプローチするかが問われます。

授業の内容

この授業は問答中心のソクラテス方式で行います。リラックスした雰囲気での自由な議論を重視します。授業の最後には、修士論文の執筆計画を発表してもらいます。他の受講者の発表内容に対して積極的にコメントしてあげてください。

授業計画

- ① 4 月 1 1 日 オリエンテーション（授業の趣旨、論文とは？ 受講生事前アンケート）
- ② 4 月 1 8 日 事前アンケートの結果報告
自己紹介＋【課題：2 章】「個人的スキルと対人スキル」コメント（半数）
話題提供（伊藤奈賀子さん：D1）
 - ・卒論と修論では同じ指導教員で要求水準がどう変化したか？
 - ・大学院生活で陥りやすい失敗は？
- ③ 4 月 2 5 日 自己紹介＋【課題：2 章】「個人的スキルと対人スキル」コメント（半数）
大学院とはどういうところか？
 - ・指導教員との関係
 - ・ストレス管理、タイムマネジメント
- ④ 5 月 2 日 自分のやりたいことを言語化する
 - ・どんな問題意識を持っているのか
 - ・頭にあるアイデアをどのように言語化・構造化するか
 - ・上手なテーマの立て方
- ⑤ 5 月 9 日 調べるスキルを身につける（先行研究の検索・収集・レビュー方法）
 - ・文献をどうやって集めるか
 - ・さまざまな調査方法【課題：3・4 章】「情報検索」「批判的な読み方」コメント（半数）
- ⑥ 5 月 1 6 日 調べるスキルを身につける（つづき）
 - ・集めた文献をどう読むか

- ・速読の方法、レビューの方法
- 【課題：3・4章】「情報検索」「批判的な読み方」コメント（半数）
- ⑦ 5月23日 修論の基本コンセプト発表+ディスカッション①(目的、方法、基本文献、予想される結論)【参考：5章】「口頭発表」「ポスター発表」
- ⑧ 5月30日 修論の基本コンセプト発表+ディスカッション②
- ⑨ 6月6日 修論の基本コンセプト発表+ディスカッション③
- ⑩ 6月13日 学術論文のセオリーを学ぶ(レク) 話題提供(平野美保さん:D1)
 - ・論文の基本要素
 - ・良い論文とダメな論文の違いはどこにあるか?
 - ・文章表現上で気をつけること
- 【課題：6章】「論文を書く」コメント
- ⑪ 6月20日 論文の執筆計画をどう立てるか(レク) 話題提供(田中岳さん:D2)
 - ・陥りやすい失敗は?
 - ・時間マネジメントのコツ
- 【課題：7章】「学位論文の作成と口頭試問」コメント
- ⑫ 6月27日 論文の執筆計画発表+ディスカッション①
- ⑬ 7月4日 論文の執筆計画発表+ディスカッション②
- ⑭ 7月11日 論文の執筆計画発表+ディスカッション③
- ⑮ 7月18日 反省会、パーティー

この授業では、過去に高度専門職業人養成コースで修士論文を書いた卒業生の方を随時ゲストスピーカーとして招き、意見交換会を行う予定です。

教科書・参考文献

次の本を教科書にします。初回の授業(4月11日)までに購入しておいて下さい。名大生協で購入可能です。

・伊藤俊洋監訳『アカデミックスキルズ』丸善、2005年、1700円+税

この本は、理系の大学院生用が研究生を送るために必要な基本的知識とスキルについて、英国がん研究所がまとめたものの翻訳です。内容は、文系・理系に関係なく、学術論文を書くのに必要なエッセンスが凝縮されています。

もっと基本的なところから勉強したい人にとっては、次の文献がお勧めです。

・佐藤望編著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会、2006年、1000円+税

この本は文系の学部生向きに大学での学び方をわかりやすく解説した良書です。しかし、基本は大学院でも同じですので、十分に使えます。

成績評価の方法と基準

次の課題を出します。①教科書の特定の章を読んできてコメントを作成する、②修士論文の基本コンセプト(目的、方法論、予想される結果)を作成する、③執筆計画を作成する、の3種類です。これらに出席状況と議論への参加状況を加味して評定します。

合格基準は、自分の修士論文の基本コンセプトを説明でき、実行可能な執筆計画を立てられるようになることです。

この授業は大学院生のイロハを学ぶためのものですので、成績評定自体が目的ではありません。

ません。言い換えれば、この授業で「不可」を取った人は、見込みがないということですので退学をお勧めします。

履修条件・関連する科目等

・高度専門人養成コースに入学したM1生を対象にします。これまで本格的な学术论文というものを書いたことがない人は特に受講をお勧めします。修論の書き方がよくわからないという社会人M2生も歓迎します。

履修上の注意

・この授業は文系総合館401号室で行います。初回は文系総合館5階の509号室（高等教育研究センター会議室）で実施しましたが、受講者が多いため401に変更します。

・「社会人院生を対象とする研究方法基礎論」というこの授業のコンセプト自体が初めての試みです。近い将来、この授業に関して研究報告や論文にまとめる可能性があります。

学年

氏名

高等教育基礎論

あなたの研究生生活レディネスチェック

- あなたの年齢は？
 1. 20代
 2. 30代
 3. 40代
 4. 50代
 5. 60代以上

- 大学時代に所属した学部は何でしたか？
 1. 人文学系（文学、歴史、哲学、地理学、心理学など）
 2. 社会科学系（法律、政治、経済、経営、国際関係など）
 3. 理・工・医・農学系
 4. 教育学系（教育学、教員養成、教育心理学など）
 5. 学際系（環境、情報、総合など）
 6. その他（記入して下さい： _____)

- 大学時代に卒業論文を書いたことがありますか？
 1. ある
 2. 別の卒業課題（レポート、実験）などを作成した
 3. ない

- 学術的な文章の書き方・セオリーを学んだことがありますか？
 1. 十分に学んだ
 2. ある程度は学んだ
 3. あまり学んだことがない
 4. ほとんど学んだことがない

- 修士論文に求められている水準について知っていますか？
 1. だいたい知っている
 2. ある程度は知っている
 3. あまり知らない
 4. ほとんど知らない

- 現在、修士論文の構想（テーマ、方法論）ができていますか？（正直にお答えください）
 1. ほぼできている
 2. ある程度できている
 3. あまりできていない
 4. ほとんどできていない

- 大学院での学習・研究生生活について、不安な点がありますか？
 1. ほとんど不安はない
 2. 不安な点がいくつかある
 3. 不安な点が多い
 4. 不安な点が非常に多い

- 情報・文献収集の方法について知っていますか？
 1. ほぼ知っている
 2. ある程度は知っている
 3. あまり知らない
 4. ほとんど知らない

- ・この授業で特に取り上げてほしいトピックスがありましたら下にご書いてください。